

浜の情報：県央水産業普及指導センター  
令和2年12月15日

野母崎小中一貫「青潮学園」で水産教室を実施しました。

長崎地区漁業士会では、11月24日に、長崎市野母町の青潮学園6年生の24名を対象に水産教室を開催しました。

今回の水産教室は、野母崎地区で実際に漁業を営む人から話を聞くことで、水産業への興味・関心を高めるとともに、地元・野母崎の魅力やそこに生きる人達を知る、ふるさと教育の一貫として開催しました。

はじめに、三浦指導漁業士が、「野母崎に生きる人をもっと知ろう！-水産業ってどんな仕事？-」と題して、体験談を交えながら、漁業の面白さや大変さ、さらには、自身の生まれ故郷である野母崎の魅力について講話を行いました。三浦指導漁業士からは、「漁業は自然相手の仕事。過酷な仕事であるが、その分やりがいもある」、「魅力溢れる野母崎に住んでいることを誇りに思っている」と等、熱いメッセージが送られ、児童達はその話に、熱心に耳を傾けていました。

また、講話の後には、岡部指導漁業士、大戸指導漁業士、松村青年漁業士も参加しての質疑・応答を実施。多くの児童達から手が上がり、その一つ一つに、4人の漁業士が丁寧に回答しました。今年度は、新型コロナの影響により残念ながら、例年のように魚の解剖実習はできませんでしたが、その替わり、地元の水産業のことを深く知るよい機会になったと思います。



講話の様子（三浦指導漁業士）



児童からの質疑応答①（岡部指導漁業士）



児童からの質疑応答②（大戸指導漁業士）



児童からの質疑応答③（松村青年漁業士）